

山岳遭難発生状況

(令和8年1月1日～令和8年5月17日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況 (暫定値) (令和7年数値は1月1日からの同期間数値)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和8年	75	17	2	22	45	86
令和7年	90	21	3	41	41	106
前年同期比	-15	-4	-1	-19	4	-20

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北ア	槍穂高	3	4.0%	0	0	2	1	3
	後立山	28	37.3%	11	1	5	16	33
	その他	5	6.7%	1	0	4	1	6
計	36	48.0%	12	1	11	18	42	
中央アルプス	6	8.0%	0	0	0	7	7	
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0	
八ヶ岳連峰	11	14.7%	3	0	3	7	13	
その他の山岳	22	29.3%	2	1	8	13	24	
計	75		17	2	22	45	86	

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	21	28.0%	6	0	17	0	23
転倒	3	4.0%	0	0	3	0	3
病気	6	8.0%	3	0	0	3	6
道迷い	14	18.7%	0	0	0	18	18
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	3	4.0%	2	0	1	0	3
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	8	10.7%	2	0	0	6	8
不明・他	20	26.7%	4	2	1	18	25
計	75		17	2	22	45	86

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	5	5	24	0	0	0	2	2	9	7	33
20代	1	0	2	11	14		0	0	0	4	4		18	
30代	1	0	0	4	5	39.3%	1	0	0	2	3	36.0%	8	38.4%
40代	4	0	4	2	10	23	1	0	1	0	2	11	12	34
50代	5	0	3	5	13	37.7%	0	1	4	4	9	44.0%	22	39.5%
60代	1	0	3	5	9	14	2	0	2	0	4	5	13	19
70以上	1	1	3	0	5	23.0%	0	0	0	1	1	20.0%	6	22.1%
計	13	1	15	32	61		4	1	7	13	25		86	
比率	70.9%						29.1%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生 (5/11~5/17)

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
行方不明者の発見	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	男	71	死亡	滑落	単独で鹿島槍ヶ岳を登山中、何らかの原因で、行方不明となっていたもの(5/10認知)。5/12遺体で発見
5月11日	北アルプス 蝶ヶ岳	女	61	死亡	滑落	7人パーティで下山中、雪に足を滑らせて、滑落
5月11日	北アルプス 蝶ヶ岳	男	71	負傷	滑落	上記遭難者の救助に向かったところ、雪に足を滑らせて、滑落、負傷
5月11日	北アルプス 爺ヶ岳	男	35	無事救出	道迷い	単独で下山中、道に迷い、行動不能
5月11日	北アルプス 烏帽子岳	男	59	死亡	滑落	単独で下山中、何らかの原因で、滑落
5月12日	北アルプス 燕岳	女	58	行方不明	不明	4/29から、単独で燕岳方面に登山へ向かったまま、行方不明
5月17日	下高井郡山ノ内町 大字平穏地籍の山林内	男	77	行方不明	不明	2人パーティで山菜採りのため入山し、単独行動中、行方不明
5月17日	浅間山	男	60	無事救出	疲労	7人パーティで下山中、疲労により、行動不能

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、7件の山岳遭難が発生しました。
依然として、雪上でのスリップによる滑落が多く、道迷いや疲労による遭難も発生しています。
皆さん、登山中のご自身を想像してみてください。
皆さんの行く手の登山道上に、ほんの数十メートルの区間、雪渓が残っています。
雪渓は下方の斜面へ続いており、今からこの雪渓をトラバースする必要がありますが、さて、皆さんならどうやって通過しますか？
アイゼン、ピッケルを装着し、慎重に通過することを強く推奨します。
万が一滑落した場合、スリップした直後に滑落を停止しなければ、滑落を止めることは困難です。どんどん加速し、もみくちゃになりながら、転がるように滑落します。
最終的には、傾斜が緩くなるか、何かに衝突するまで止まりません。命の保障もありません。
自分の命を守るために、装備を携行し、使用すべき時に使用してください。
また、安全を重視した判断と、慎重な行動をお願いします。